

## 1-5 沿川地域の現状把握

### 1-5-1 土地利用

本市の五条川は、井上橋～待合橋の区間は市街地（市街化区域）を流下し、それより下流は市街化調整区域となり、沿川に田畑が広がっている。ただし、待合橋より下流の左岸（北名古屋市）においては、（県）名古屋江南線の岩倉新橋付近までは住居系の市街地であり、岩倉新橋付近より下流は準工業・工業地域の工業系の市街地となっている。

本市内の市街地を流下する五条川の沿川は、名神高速道路付近では部分的に準工業地域となるが、ほとんどは第一種住居地域や第二種中高層住居専用地域の住居系の土地利用が図られている。

### 1-5-2 公園緑地

五条川にほど近い沿川地域には、都市公園の竹林公園のほか、児童遊園が 5 箇所、八剣憩いの広場やお祭り広場など尾北自然歩道の休憩所が 10 箇所ある。

竹林公園は、竹林を中心に園路が配置された公園であり、親水護岸が一体的に整備された市民の憩いの場となっている。また、八剣憩いの広場は、0.8ha ほどのグラウンドがあり、グラウンドゴルフなどで日常的に利用されて



竹林公園

いる。本広場の堤防道路沿いにはポケットパークや親水護岸が一体的に整備されており、市民の憩いやスポーツ・レクリエーションの拠点となっている。

また、尾北自然歩道の休憩所は、原則として五条川に隣近して設置されており、トイレ、ベンチ、四阿などの休憩施設が整備されている。

### 1-5-3 用排水路・公共下水道

#### (1) 用排水路

本市の五条川の左岸地域の用排水は、矢戸川に流下している。また右岸地域の用排水路の多くは、待合橋の下流に流下している。

#### (2) 公共下水道

平成 23 年 8 月現在、五条川の左岸地域の市街化区域全域で下水道の供用が開始されている。一方、五条川の右岸地域においては、五条川と名鉄犬山線に挟まれた地域の市街化区域の大半は、下水道が整備されておらず、平成 27 年度までも供用開始予定にない。

## 1-5-4 公共公益施設

本市の玄関口である名鉄岩倉駅が五条川真光寺橋付近の西側約 350mに位置している。また、南部中学校、五条川小学校、曾野小学校の 3校が五条川に隣接して立地している。



五条川小学校（水生生物調査）

資料：五条川小学校ホームページ

## 1-5-5 歴史文化資源

### ① のんぼり洗い

「のんぼり洗い」は、大寒の頃から節句に向けて、例年 2 月～4 月初旬に五条川で行われる「鯉のぼり」の糊落とし作業である。

市内中本町には、2 軒の「のんぼり屋」があり、紺屋（染物屋）として 400 年余りの歴史を持つ老舗である。鯉のぼりを作るようになったのは、大正末～昭和初頭の頃からであり、この 2 軒の「のんぼり屋」は、伝統的な手法を現在まで守り続けている。

「のんぼり洗い」は約 70 年続く、五条川の風物詩として人々に親しまれている。



のんぼり洗い

資料：東海農政局ホームページ

### ② 岩倉街道

岩倉街道は、庄内川に架かる名古屋市と清須市を結ぶ枇杷島橋を起点とし、北名古屋市、岩倉市、江南市、丹羽郡扶桑町を通り、犬山市の国宝犬山城を終点とする街道である。

本市内では、五条川から西側の約 100m～500mの位置を南北に通っている。南は大山寺町の生田橋にて北名古屋市から本市に至り、市内の本町内で大きく屈曲したのち、北は県道小口岩倉線にて江南市へ通じている。



岩倉街道（岩倉市下本町）

### ③ 山内一豊

山内一豊公は、天文 14 年（1545 年）7 月岩倉城の家老但馬守盛豊公の子として、岩倉の地に誕生した。一豊公は、信長が美濃支配をした永禄 10 年（1567 年）ころから信長に仕え、元亀元年ころに妻の千代を迎えたとされている。

その後、天正 12 年（1584 年）に近江の長浜（滋賀県）で 5 千石、同 18 年（1590 年）には遠江の掛川（静岡県）で 6 万石の城主となった。

秀吉死後は、徳川家康に味方し、慶長 5 年（1600 年）に土佐 20 万石の領主となり、高知城を築城した。

山内一豊誕生地碑は、一豊公の父盛豊公が「武運長久を祈って社を建てた」という由緒により、昭和 9 年に神明生田神社境内に建てられた。



山内一豊誕生地碑

資料：岩倉市ホームページ

### ④ 岩倉城跡

戦国時代、尾張の守護代として権力を握っていた織田氏に内紛がおり、文明 10 年（1478 年）まで織田敏定と織田敏広の間で激しい戦いが繰り返されていたが、和議にて織田敏広は岩倉城で尾張北部を、織田敏定が清洲城で尾張南部を治めるという分割統治の時代になった。

その後、天文 24 年（1555 年）に信秀の子・織田信長が清洲城主となり、このころの岩倉城主は、織田信安・信賢で、信長と反目しあい、永禄元年（1558 年）に両者が戦った結果、永禄 2 年（1559 年）に信長は、岩倉城を落城し、尾張の統一を果たした。

古文書によると、岩倉城の構えは、東西約 90m、南北約 170m の二重堀であり、館と望楼があったといわれている。



岩倉城跡

資料：岩倉市ホームページ

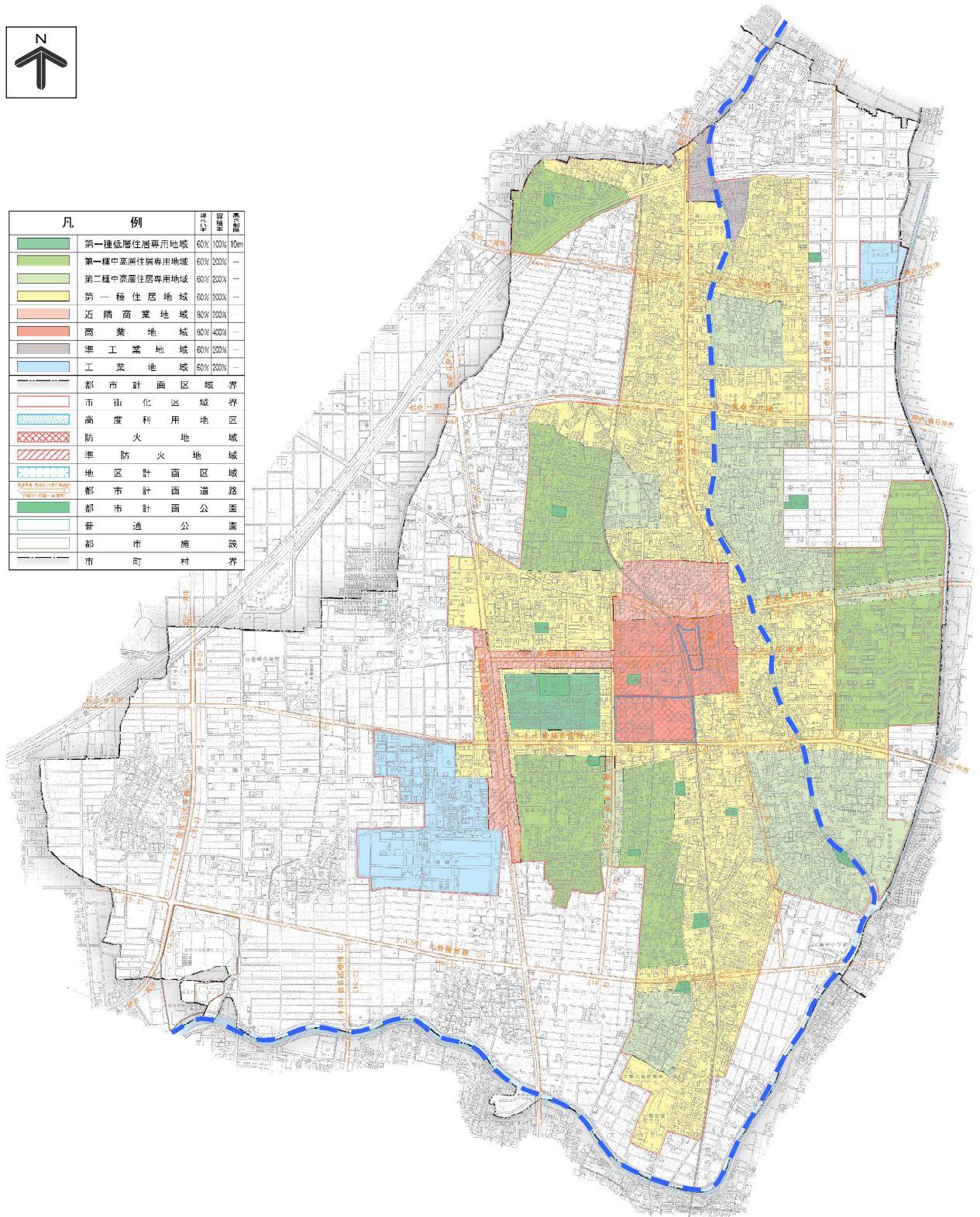
## 1-5-6 岩倉市浸水ハザードマップ

概ね 10 年に 1 回程度起こる大雨（1 時間最大 63mm）が降った場合、市内南部の川井町周辺の地域では、内水氾濫の想定浸水深が 1m を超えると予想される場所が多く見られる。また、市内東部の東町や大市場町では内水氾濫の想定浸水深が 0.5m を超えると予想される場所が広く存在している。





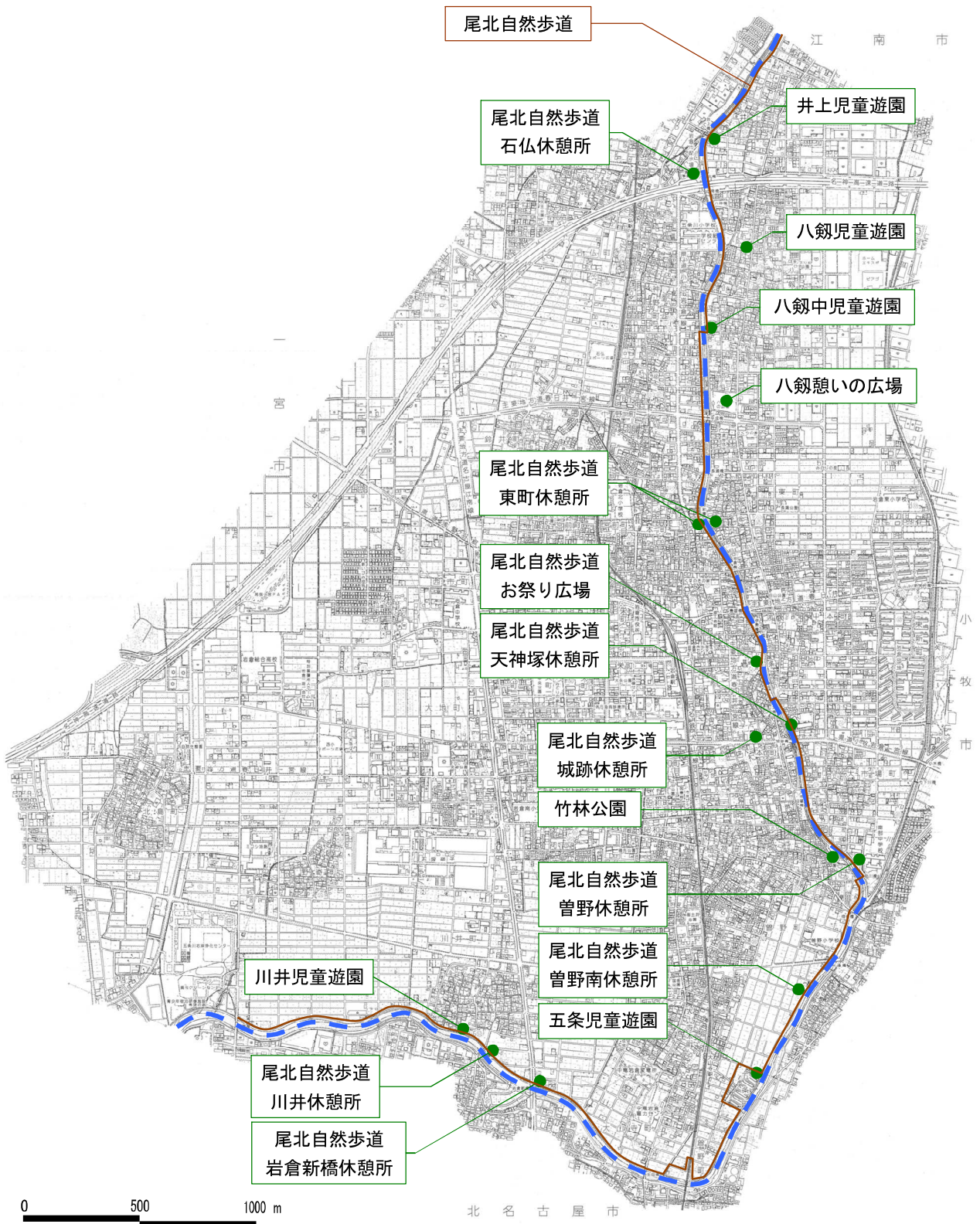
凡 例	建 築 種 類	容 積 率	高 度 制限
	第一種低層住居専用地域	60%	10m
	第一種中高層住居専用地域	60%	20m
	第二種中高層住居専用地域	60%	20m
	第一種住居地域	60%	20m
	近隣商業地域	80%	20m
	商業地域	90%	40m
	準工業地域	60%	20m
	工業地域	60%	20m
	都市計画区域界		
	市街化区域界		
	高度利用地区		
	防火地域		
	準防火地域		
	地区計画区域		
	都市計画道路		
	都市計画公園		
	普通公園		
	都市施設		
	市町村界		



資料：尾張（岩倉市）都市計画図

図 1-5-1 五条川沿川の土地利用

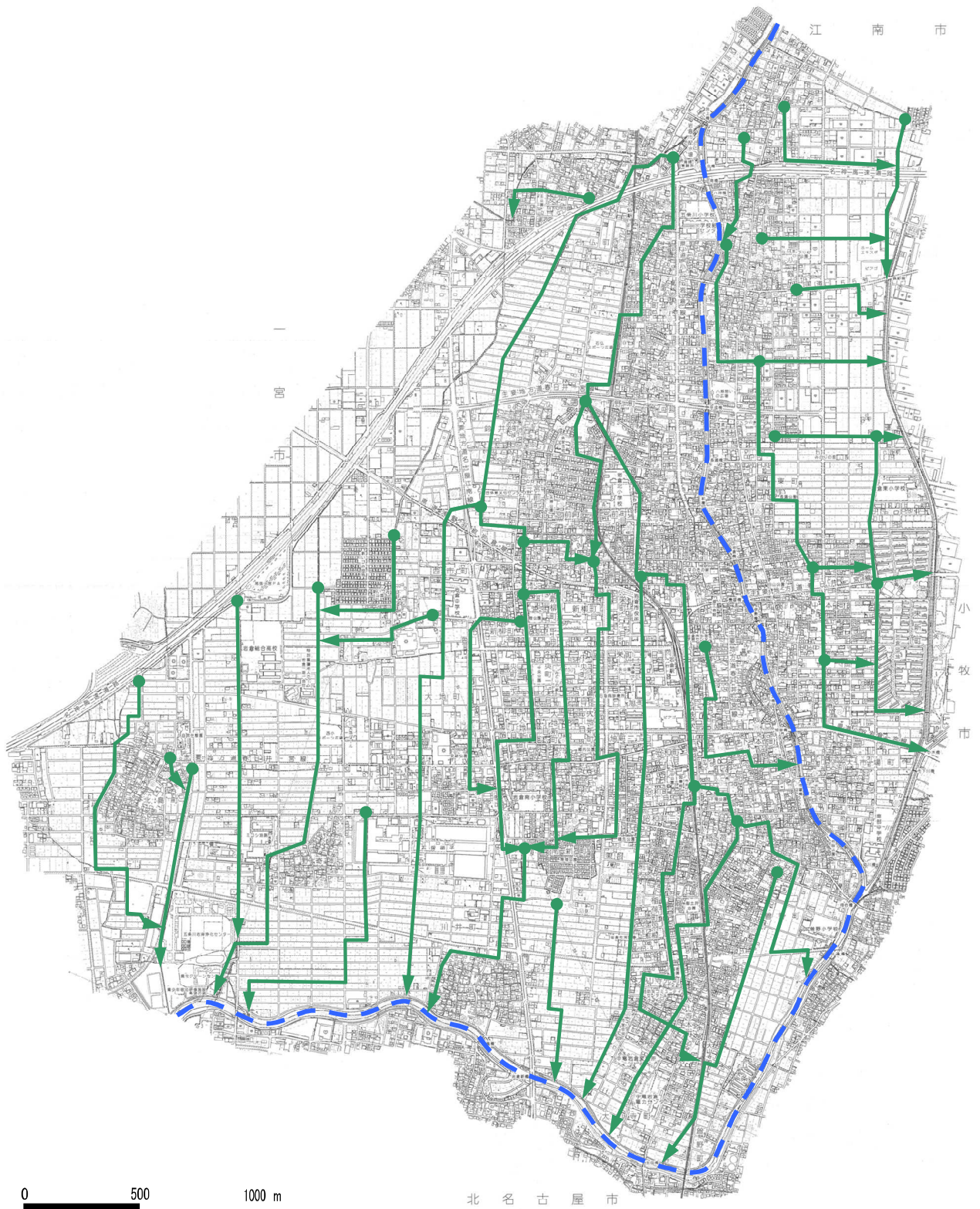




資料：いわくら MAP&GUIDE

図 1-5-2 五条川沿川の公園緑地





資料：市資料

图 1-5-3 用排水路

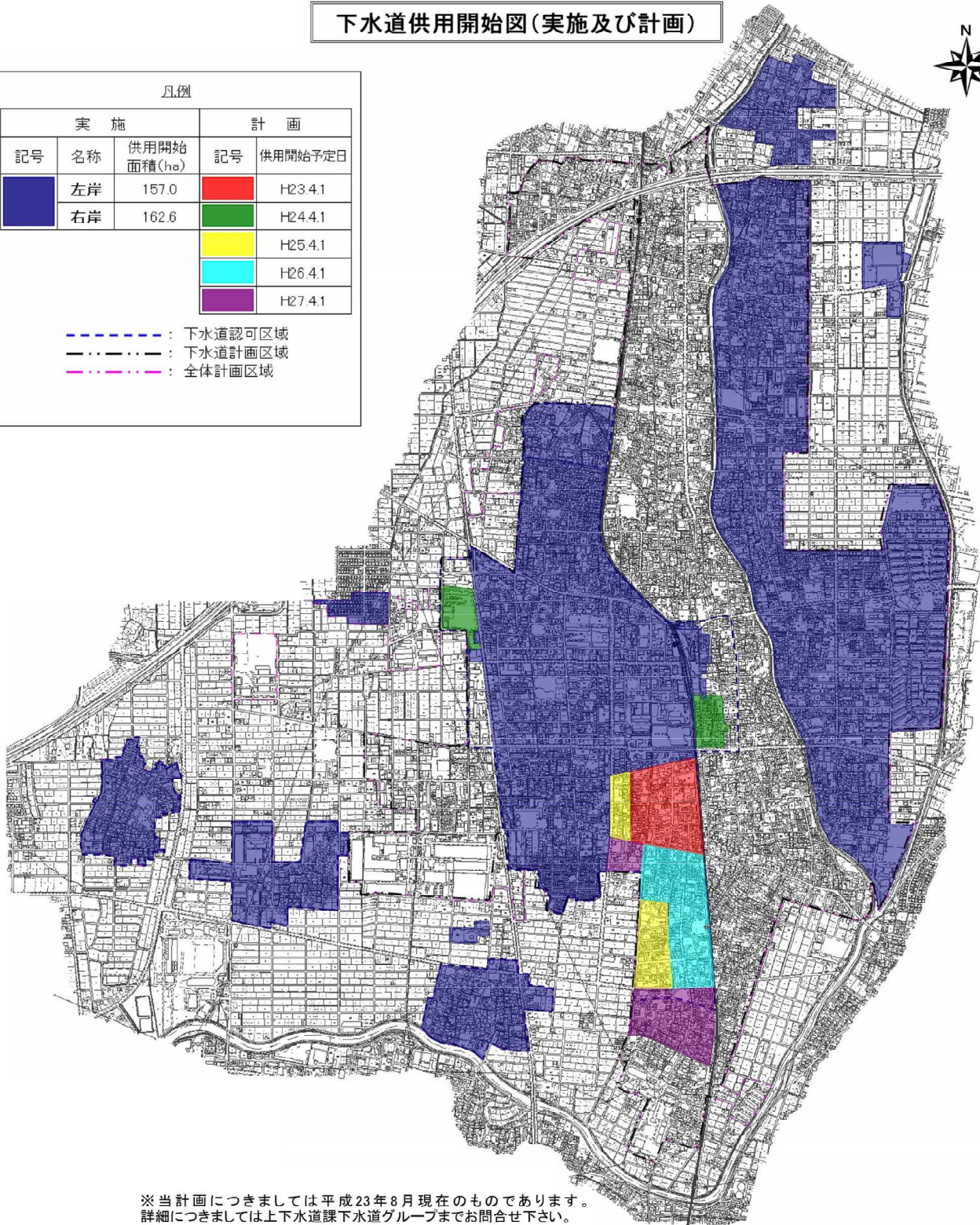


### 下水道供用開始図(実施及び計画)



凡例				
実施			計画	
記号	名称	供用開始面積(ha)	記号	供用開始予定日
■	左岸	157.0	■	H23.4.1
	右岸	162.6	■	H24.4.1
			■	H25.4.1
			■	H26.4.1
			■	H27.4.1

- - - - : 下水道認可区域  
 - · - · - : 下水道計画区域  
 - · - · - : 全体計画区域

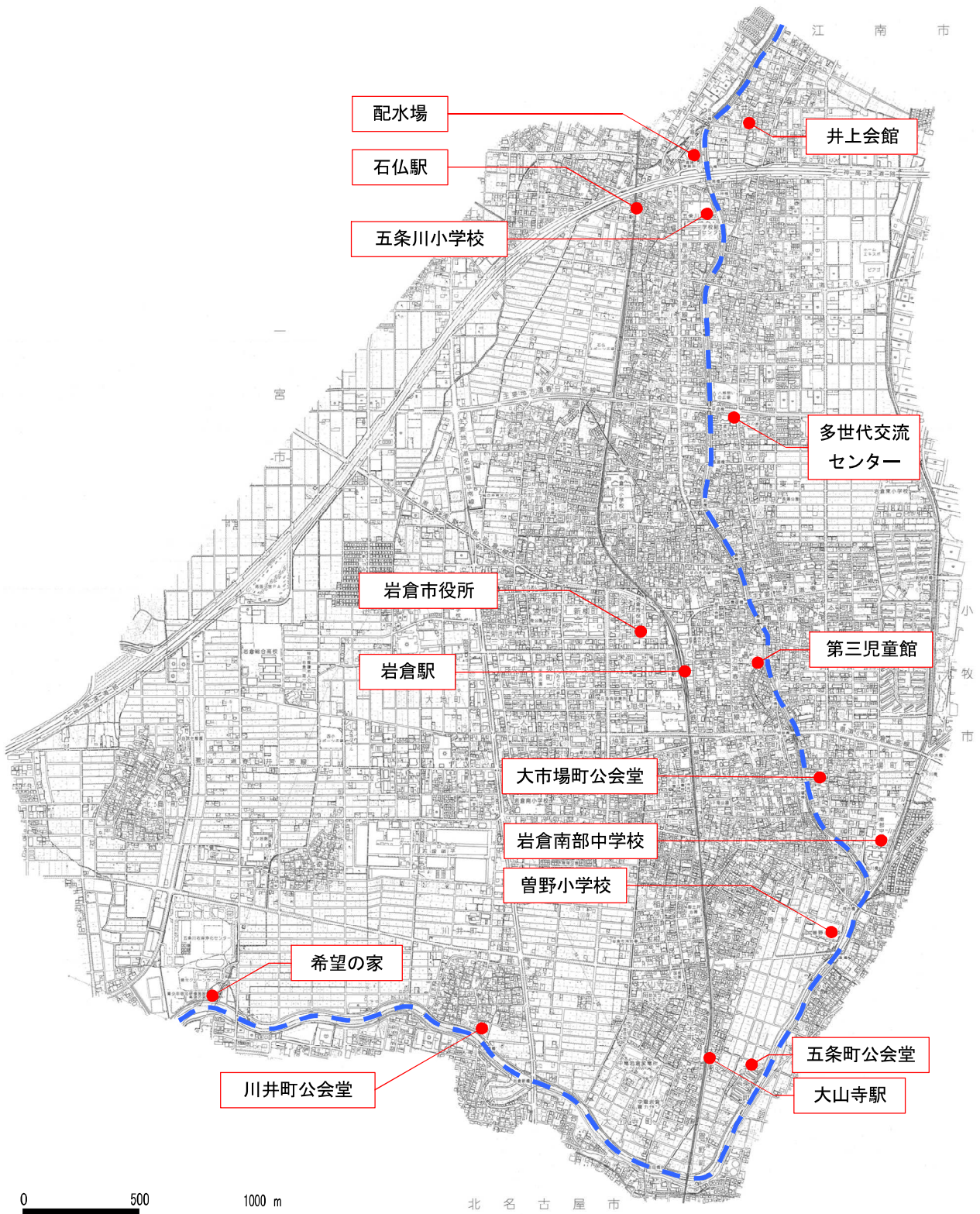


※当計画につきましては平成23年8月現在のものです。  
 詳細につきましては上下水道課下水道グループまでお問合せ下さい。

資料：市資料

図 1-5-4 下水道供用開始図(実施及び計画)

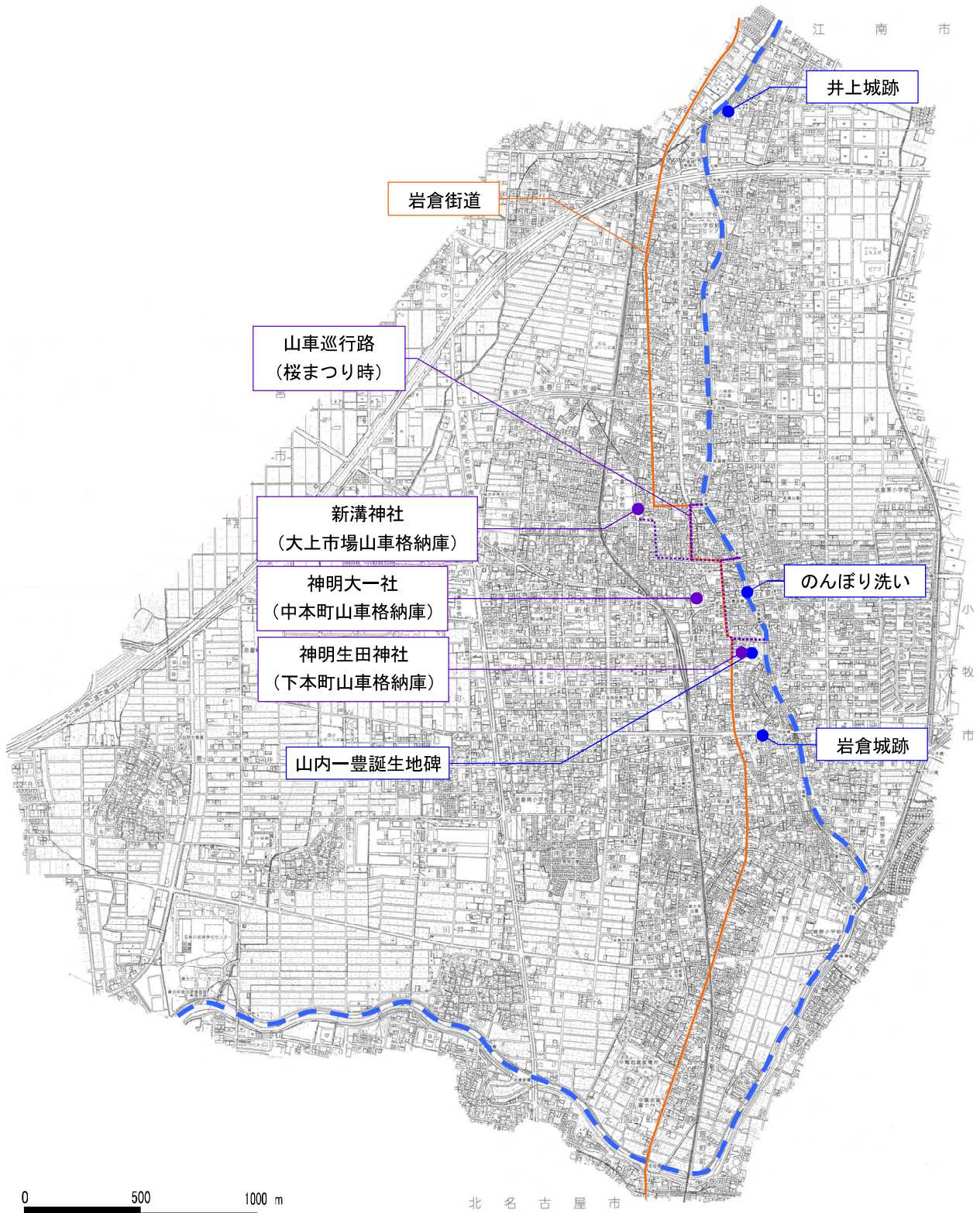




資料：いわくら MAP&GUIDE

図 1-5-5 五条川沿川の公共公益施設



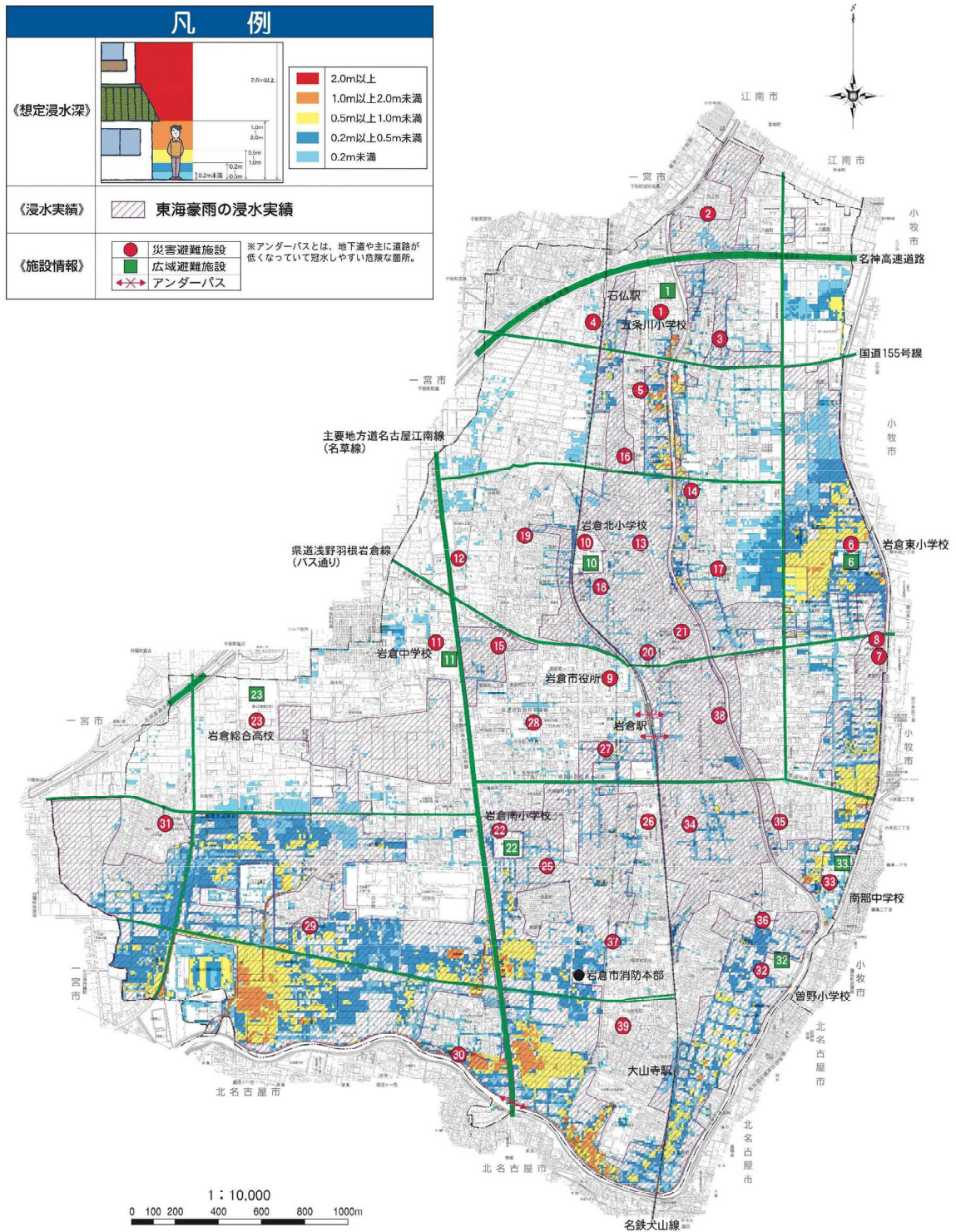


資料：いわくら MAP&GUIDE、岩倉市緑の基本計画、岩倉桜まつりパンフレット（平成 24 年度版）

図 1-5-6 五条川沿川の歴史文化資源



# 内水氾濫想定区域図



資料：市資料

図 1-5-7 岩倉市浸水ハザードマップ